



# ボランティア特集

- ▶ インタビュー 北澤 豪
- ▶ コラム1 ヴァンフォーレ甲府
- ▶ コラム2 サラエヴォ・フットボール・プロジェクト
- ▶ 各国で活動するボランティア団体
- ▶ 募金
- ▶ インフォメーション

## 各国で活動するボランティア団体

- ▶ アジア
- ▶ アフリカ
- ▶ 中・南アメリカ
- ▶ ヨーロッパ
- ▶ その他

[ウガンダ](#) | [エチオピア](#) | [ガーナ](#) | [ギニア](#) | [ケニア](#) | [コートジボワール](#)  
[シエラレオネ](#) | [スーダン](#) | [タンザニア](#) | [チャド](#) | [ブルキナファソ](#) | [ルワンダ](#)

## ケニア

団体のスタッフやボランティアが、普段の仕事や現地のサッカー人気などについてコメントを寄せてくれました。

### わかちあいプロジェクト

途上国でつくられた作物や製品を適正な価格で取引する「フェアトレード」のひとつとして、フェアトレード・サッカーボールASPIROの普及活動をしています。世界のサッカーボールの約7割がパキスタンやインドなどでつくられています。ひとつひとつ手縫いでつくられていますが、労働は安く、学齢期の幼い子どもが働かされているという状況もあります。フェアトレード・サッカーボールは、通常の支払いとは別に奨励金が支払われ、生産地パキスタンの子供の教育や労働者の福祉など、地域の発展に貢献しています。海外では、ケニアのカクマ難民キャンプでスポーツプログラムの支援活動を行い、カンボジアの小学校にASPIROボールを寄付しています。

団体情報は[こちら](#)



松木 淳さん(ボランティア/学生)

「フェアトレード・サッカーボールの普及活動をやっています。この団体の良いところは自立的に行動できる点です。カクマ難民キャンプではサッカーが大人気で、いつもギャラリーがいっぱいです。キャンプには計8つの国籍・民族の難民が共生していますが、サッカーなどのスポーツは、秩序を守ったり治安をよくしたりと、運営に大きく貢献しています。私自身、スーダン対エチオピアのサッカーの試合に飛び入り参加しました。サッカーは人種や国籍をこえた交流を可能にする素晴らしい文化ですね！」

※ご紹介している団体の中には、複数の国や地域で活動する団体もありますが、今回は代表的な活動国を紹介させていただきました。

- ▶ イラン
- ▶ アンゴラ
- ▶ ガーナ
- ▶ エクアドル
- ▶ ウクライナ
- ▶ アジア
- ▶ アフリカ
- ▶ 中・南アメリカ
- ▶ ヨーロッパ
- ▶ その他

情報提供: Think the Earth

[2006FIFAワールドカップ™ボランティア特集トップ](#) | [Yahoo!ボランティア](#)